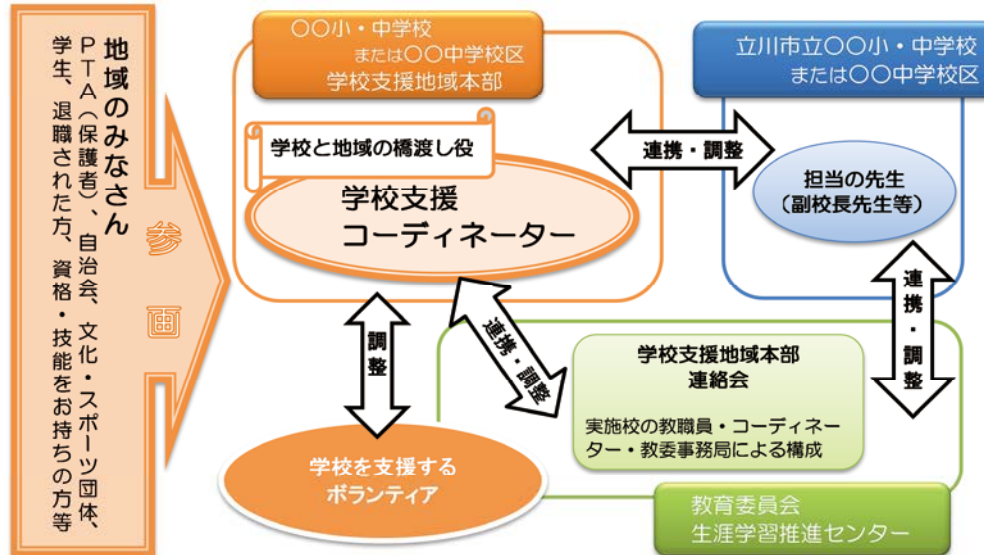


◆事業方針（計画等における位置付け）

立川市教育委員会は「まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは学校から」の理念の下、「学校・家庭・地域の連携による地域力の向上」を基本方針の1つに掲げている。学校支援地域本部は、「学校」と「地域」が共に子供を育て、共に地域を創っていく基盤として、地域の皆さんが学校の要望に応じて学校の教育活動を支援するための取組として実施。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制



◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

市内全戸に配布している市の広報や教育だよりなどで学校支援地域本部やボランティアの活動について紹介し、広く認知されるようにしている。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

立川市学校支援地域本部連絡会を5月に開催し、昨年度から活動する学校の活動内容について紹介して新たに取り組む学校の活動の参考になるようにしている。

12月には学校支援コーディネーターのみを対象とした連絡会を開催し、コーディネーター同士の交流や今後の取組や課題についての情報が共有できるようにしている。

また、来年2月に開催予定の学校支援ボランティアのスキルアップ研修にコーディネーターへも参加を呼び掛け、コーディネーター同士だけでなく、学校支援ボランティアとの交流の機会も設ける。

全校実施を視野に、全小・中学校長を対象にした説明会を年明けに実施予定。



学校支援地域本部連絡会

◆成果

学校からは「コーディネーターと連携することで各学年の活動が、スムーズで充実した内容になった。」「コーディネーターの地域団体との関わりの深さから活動が順調に進行している。」などの声があった。

◆課題・展望

今後、早い時期に全小・中学校で実施できるよう取り組んでいる。

これまでの取り組みの中で、本事業について学校や地域への周知が不十分であると感じている。来年度に向けて本事業の理解・周知のため、学校関係者や保護者、地域に市独自のパンフレット等を作成し配布するなど、積極的に広報活動を行っていく。